

キリスト教主義の 会津北嶺高等学校の入学式開催

2022年度会津北嶺高等学校の入学式が、4月9日同校体育館にて開催された。当日は、新入生（115名）・保護者・来賓者・教職員など参加者全員が、マスクやフェイスシールド（同校で用意）を付け、会場の体育

館や教室を噴霧消毒し、午後1時より行われた。なお、式はキリスト教主義の入学式。十字架の燭台に4本の蝋燭を点し、国家斉唱、校歌、賛美歌、来賓祝辞があり、歓迎の言葉は在校生を代表して鈴木仁助君、誓いの言葉

は新入生を代表して齋藤凛さんが行い、最後に牧師の祝祷で締め括った。なお席上、石山学校長は「本校は、1923年に石山休三先生が『博愛・自由・平等』の建学の精神のもと、若松裁縫女学校として創立され、99年を迎えました。1947年からキリスト教教育を徳育教育の柱として、建学の精神のとおり、『生きること、愛すること、学ぶこと、そして貢献すること』。人間は平等であ

るから、本校の先生方は生徒さんを呼び捨てしません。授業時数も内容も県立の進学校に引けを取ることはありません。さて、新入生の皆さん、私は本校の卒業生として、輝かしい伝統と校風を皆さんに引き継いで頂いた。皆さんは、会津北嶺高等学校を選んで入学したのではなく、『神様が一人一人を選んでここに送ってくださった』のだと私は信じています」と、式辞を述べた。

